

災害時の対応に向けた行政間ネットワークの構築について

(1) 第2次富良野地区定住自立圏共生ビジョン（H31.3公表）

- | | |
|-----|---|
| Ⅲ | 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 |
| 2 | 圏域内市町村職員等の交流 |
| (1) | 職員等の研修・交流 |
| イ | 災害時の対応に向けた行政間ネットワークの構築 |
| | 【事業内容】災害時における行政間連携の対応方法を検討するため、課題の洗い出しや課題解決の方策などの構築を図る。 |
| | 【効果】災害時における行政間連携のスムーズな対応方法を構築することにより、行政間支援の迅速化が図られる。 |

(2) 道内定住自立圏における「防災」の取組について

◆取組あり（8圏域）

- ①上川中部定住自立圏【中心市：旭川市】
内容：防災体制の整備（防災計画等の情報共有、職員の合同研修や訓練）
- ②西いぶり定住自立圏【中心市：室蘭市】 ※3市3町による防災協定あり
内容：地域防災体制の充実（職員派遣、資機材・避難施設等の相互応援）
- ③十勝定住自立圏【中心市：帯広市】
内容：地域防災体制の構築（備蓄品・避難施設の提供、職員派遣）
- ④網走市大空町定住自立圏【中心市：網走市】
内容：防災対策活動の推進（地域防災訓練、資機材・備蓄品の整備）
- ⑤東胆振定住自立圏【中心市：苫小牧市】
内容：防災体制の充実（備蓄品の提供、職員派遣）
- ⑥宗谷定住自立圏【中心市：稚内市】
内容：圏域内防災体制の整備（防災連絡協議会の設置運営、備蓄品の相互活用）
- ⑦中空知定住自立圏【中心市：滝川市、砂川市】
内容：広域防災体制の連携推進（職員派遣、備蓄品・資機材等の相互利用）
- ⑧北空知定住自立圏【中心市：深川市】
内容：災害時の相互応援（職員派遣、備蓄品・資機材等の相互利用）

◆取組なし（5圏域）

- ①富良野地区定住自立圏【中心市：富良野市】
- ②北海道定住自立圏【中心市：函館市】
- ③北しりべし定住自立圏【中心市：小樽市】
- ④釧路定住自立圏【中心市：釧路市】
- ⑤北・北海道中央定住自立圏【中心市：士別市、名寄市】

※定住自立圏形成協定
・議会の議決が必要
・中心市と圏域町村それぞれとの間で
1対1の協定締結

(3) 富良野圏域に関連する「防災」の協定等について

◆災害時等における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定

締結日：平成27年3月31日

締結者：北海道、北海道市長会、北海道町村会

◆かみかわの絆19～上川管内町村広域防災に関する決議～

決議日：平成26年2月14日

決議者：上川管内19町村

(4) 今後の進め方

◆検討体制

- ・（仮称）富良野圏域連携協議会総務専門部会の設置
※または、富良野沿線総務課長会議を活用

◆検討事項

- ・課題の洗い出し、課題解決の方策など